## 不確実な環境下で設備投資案を 評価する

分野 氏名

適用

設備投資の経済性計算, 資本予算. 投資決定 杉山善浩 教授



リアル・オプション法に関する導入研究

所属 経営学部 経営学科 リアル・オプション法が割引キャッシュ・フロー

内容

●特徴

研究

名称

設備投資の経済性計算においては、長年、正味現 在価値法や内部利益率法といった割引キャッシュ・ フロー法(DCF法)の適用が理論的な妥当性をもち, 望ましいとされてきた。ところが、近年、投資決定 問題へのリアル・オプション法(RO法)の適用が注 目されている。リアル・オプション法とは、実物資 産投資に関係するさまざまな意思決定機会をコー

ル・オプションやプット・オプションの集合とみな

し、金融オプションの考え方と計算手法を金融以外

の投資評価に適用する手法である。

●研究内容

した。

割引キャッシュフロー法の問題点として、第1に、 将来のキャッシュ・フローを予測する際にその前提 条件に恣意性が介入すること、第2に、将来の意思決 定すべき事項をあらかじめ決めてしまうことがあげ られる。こうした割引キャッシュ・フローの欠点を 克服する手法として、リアル・オプション法が登場 法よりもシステム的に優れているとしても、その導 入が必ずしも成功するとは限らない。そこで、リア ル・オプション法の導入による効果がどのような要 因で決定されるかを明らかにする。すなわち、どう いった要因が導入の成功要因(促進要因)になるの か、また失敗要因(阳害要因)になるのかを探求す る。

◎成功要因 成功 DCF 法⇒RO 法 ◎失敗要因 失敗

キーワード 投資決定、金融オプション、リアル・オプション、導入研究、リスク、不確 実性、成功要因、 阻害要因

連携方法

■ 講演

■ 研修

■ 研究相談

■ 学術調査

■コメンテート

■ 共同研究